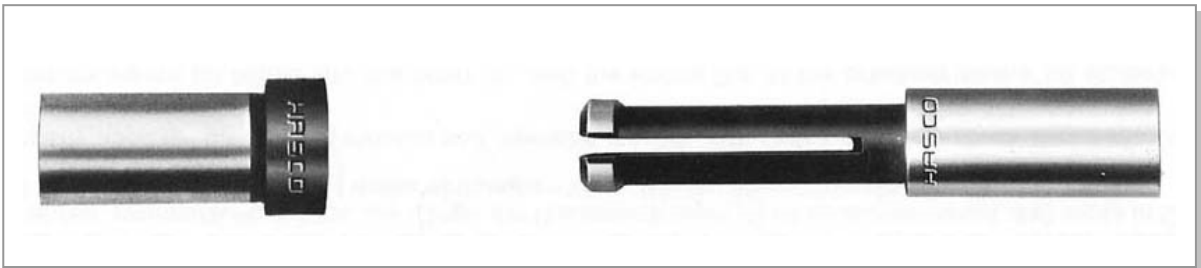


HASCO[®] アーリー・エjectorリターンユニット

(ドイツハスコ社製)

エjector・プレート早戻し装置としては最も単純な部品でヨーロッパ、アジア地区で多く使われています。

又2段突出し作動ユニット(裏面参照)としても活用されています。



ドイツハスコ社のアーリー・リターン(エjector・プレート)の早戻し装置の特徴は

- ◆ 構造がシンプルである事
- ◆ 金型への組み込みが簡単である事
- ◆ 故障がない事



日本金型産業株式会社

東京都品川区東大井5-12-10 大井朝陽ビル1F

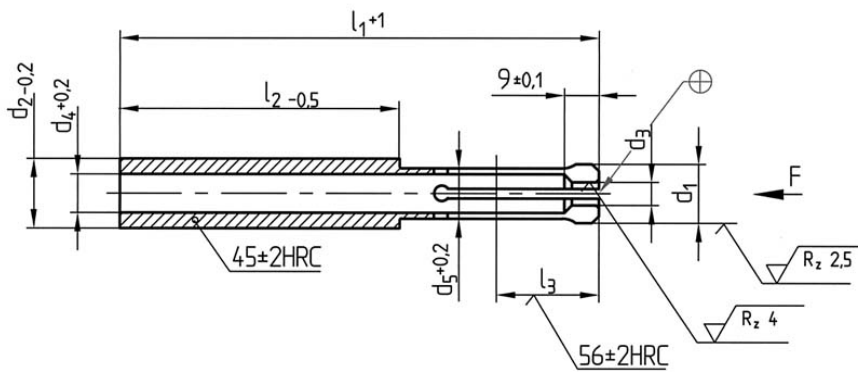
TEL : 03-6810-4751 FAX : 03-6810-4766

URL : <http://www.jtdtky.co.jp>

E-mail : jtd@jtdtky.co.jp

Z163/...

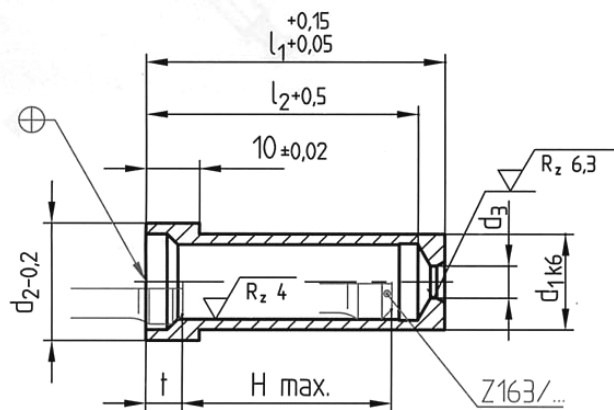
Mat.: 1.2826



Max.F(N)	l ₃	l ₂	d ₁	d ₂	d ₄	d ₅	d ₃	l ₁	カタログ番号
12000	20	73	16	18	10	13	6	125	Z163/6x125
20000	25	100	20	24	12.5	17	10	160	10x160

Z164/...

Mat.: 1.2080 / 60 +2HRC



max.H	t	l ₂	d ₂	d ₁	d ₃	l ₁	カタログ番号
24	6.7	31	22	18	6	36	Z164/6x36
34		41				46	46
44		51				56	56

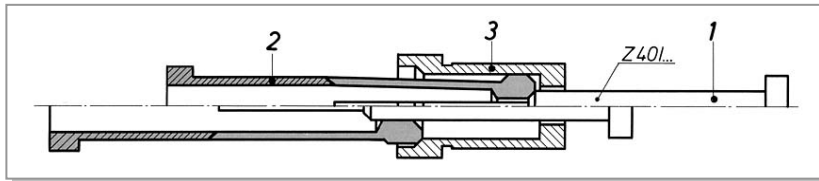
max.H	t	l ₂	d ₂	d ₁	d ₃	l ₁	カタログ番号
23	6.7	30	29	24	10	36	Z164/10x36
33		40				46	46
43		50				56	56
63		70				76	76

■ Z163...作動

1. 早戻し装置は主に、ダイキャスト及びプラスチック金型に使用します。

突出しの際はスリーブ(2)がブッシュ(3)の中に入り、スリーブの内径がすばまります。

型閉めの際はピン(1)が型に閉じる前にすばまったスリーブと共にエジェクタープレートを押戻します。スリーブ(2)の全長は、ピン(1)がスリーブ(2)に入り込む前にエジェクタープレートがもとの位置に戻る様調整して下さい(例 1)

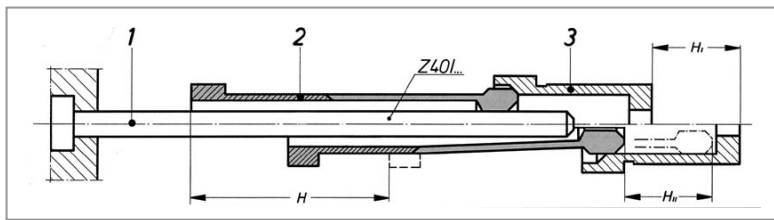


2. 二段突き出し仕様の金型にも有効です。更に

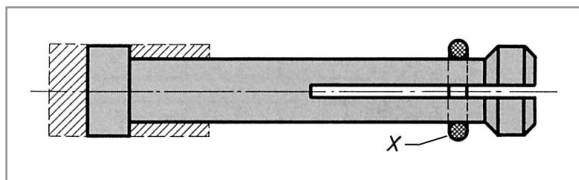
突出しストローク(H)を2つのストローク(H_I, H_{II})に分割出来ます。

まずスリーブ(2)とブッシュ(3)が(H_I)ストローク間一緒に動きます。H ストロークはピン(1)の長さにより決まります。

また、スリーブ(2)がブッシュ(3)に入り、更なるストローク(H_{II})で二段突き出します。(裏面②③参照)

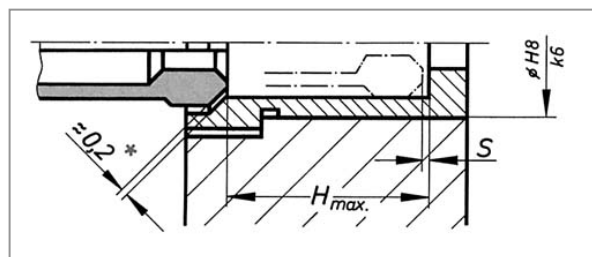


■ Z163...組込み留意点



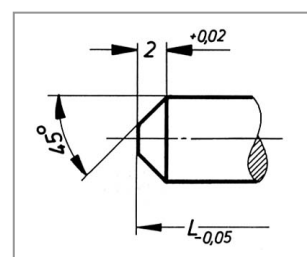
スリーブ(2)Z163...の最後部は必要に応じて寸法を変えることが出来ます。

加工の際、スリーブ先端の振動を防ぐ為、Oリングやセロハンテープで固定するなど工夫して下さい。



(H)ストロークの最大寸法は、ブッシュ(3)Z164...又はピン(1)Z40...の長さにより決まります。

安全の為 0.5mm の隙間(S)を設けて下さい。

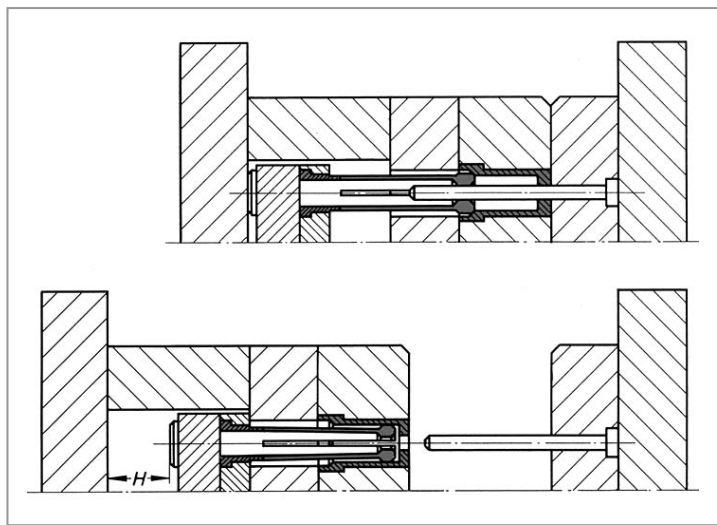


ピンの先端加工は図のように加工して下さい。尚ピンはHASCO Z40...をご使用することをお薦めします。

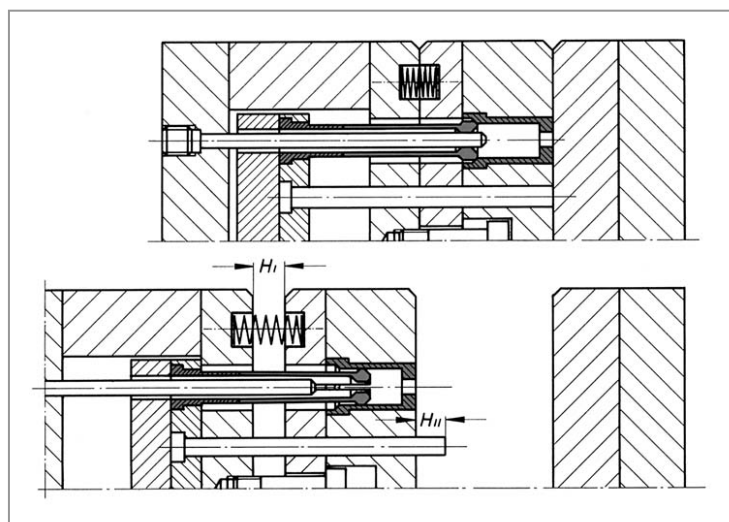
(注) 金型組込みの際はグリスを充分塗って下さい。HASCO Z260(261)潤滑剤を推薦します。

■ Z163 使用例

① 油圧による突出し機構が無い射出成形金型又は、ダイカスト金型の使用例



② ストリッパープレート仕様の金型におけるストリッパープレート作動例



③ 二段突出し使用例

